

# スマホの充電 街中でもOK!

## 加速する東京都の取り組み

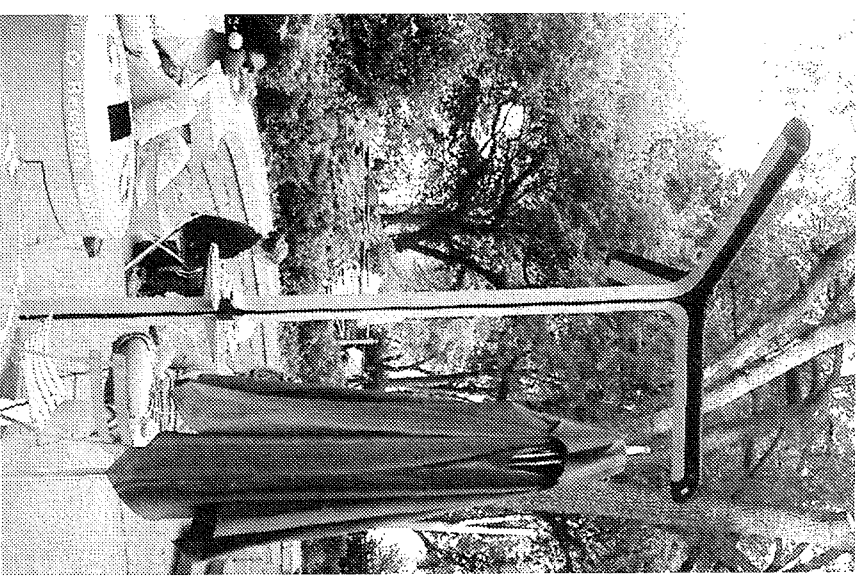
スマートフォン(スマホ)の利用者にとって悩みの一つが電池切れの問題。予備のバッテリーを持ち歩く人も少なくない。こうした中、無料でスマホを充電できる東京都の取り組みが注目されている。充電スポットの設置は、公明党本部青年局の政策アンケート「東京ポマス・アクション」でも高い関心を集めている。

## 太陽光を利用した無料スポット 「シナイチャージ」増設

東京都と都環境公社は2ト「シナイチャージ」を設け、誰もが気軽にスマホを充電することができ、シナイチャージは、太陽光パネルや蓄電池、LED照明、携帯端末の充電ケーブルを装備し、太陽光パネルで発電した電気を蓄電池で流し、スマホはもちろん、スマートフォンも利用できる。夜間はLED照明が点灯し、災害時には非常用電源としても活用できる。一つのテーブルで二つの端末まで充電可能で、日本で流通するあらゆる機種に対応し、スマホはもちろん、「ガフケー」も利用できる。

という。

虎ノ門ヒルズに設置されたシナイチャージは1年限りだったが、東京タワーや区、二子玉川公園店(世田谷区)、町田金森店(町田市)の3店舗にいずれ型のシナイチャージを設置。客がくるぎながらスマホを充電できるのが特徴だ。1月、3カ所にシナイチャージを増設した。世界的に20年には東京五輪・パリンピックが開催される。東京都を訪れる外国人客の増加が予想されるだけに、スマホを充電できる環境を整えていくことは、「おもてなし」の観点からも重要とされている。



クエスチョン  
スナックがニ  
ス充電(中央)  
に設置している  
・エス(中)東  
・ユニア  
米ニエ  
写真提供  
東京都環境公  
社

普及が期待される  
スマホ充電スポット  
東京タワーのスマホ  
充電スポット



人の憩うカフェにも  
導入されている  
(写真は全て東京都環境公社提供)

## 今年度から補助事業も 区市町村やバス事業者対象に

携帯端末の充電スポット  
都が費用の10割を補助す  
る。もう一つは、バス事業者  
に対する補助。停留所に太  
陽光パネルなどを使った充  
電スポットを設置する場合  
、都が10割補助する。そ  
の対象には、もちろんス  
マタンドを設置する際、  
一社は都内の区市町村に  
対する補助だ。携帯端末の  
充電スポットの設置を希望  
する自治体が自立型ソーラ

いずれも、国内では先駆  
的な取り組みで、区市町村  
やバス事業者がこの制度を  
活用することによって、充  
電スポットが都内に広がる  
ことをめざしている。日本  
では登場したばかりの充  
電スポットだが、観光

いっ。東京都地球温暖化防止  
推進センターの小島正積  
セクター長は「充電スポッ  
ト設置の動きが民間ベ  
ーでも広がってくれたら」と  
語っている。市民団体の取  
り組みが、充電スポット普  
及への力になると言える。